



支援報告



大学創立60周年記念事業への協力について

保護者会事務局

京都ノートルダム女子大学保護者会は、大学創立60周年記念に際し、キャンパスの環境整備への事業協力として、60周年特別事業積立金より5,000,000円を寄付させていただきましたことをご報告いたします。

去る令和3年12月8日の記念式典では、保護者会藤岡会長から中村学長へ目録を贈呈させていただき、学長からは感謝状を拝受しました。このような事業を行うことができますのも、ひとえに保護者の皆様のご協力のお蔭でございます。厚く感謝いたしますとともに、今後も学生たちの良き学びのためと、心身ともに充実して過ごせる学生生活のために、大学の設備整備に協力してまいります。



ソフィア館ロビー改装案への協力について

保護者会事務局

本学ソフィア館1階には学生課、キャリアセンターなどがあり、学生が頻繁に訪れる場所ですが、このたび学生課から「もう少し気軽に交流ができたり、リラックスできるスペースを作って、学生たちの活動を活性化したい」とのことで、ロビーの改装について提案がありました。第4回理事会で支援について審議した結果、コロナの影響により、クラブ・サークル活動に対する予算に余裕があることから支援を決定しました。さらに、この改装プランを本学生活環境学科・竹原先生のゼミ生が考案したということで、教育目的達成にも協力できると考えます。

新たにハイカウンター&チェアーやコーヒー自販機の設置、壁面装飾等、居心地が良くなるようなプランになっており、この場所をきっかけにコロナ禍で、思うように大学生活が送れなかった学生同士の交流が活発になれば、と願っています。具体的な費用などについては、年度末の事業報告にてあらためてご報告させていただきます。

改装プランイメージ
※実際には多少異なります



クラブ活動報告 女声合唱団

女声合唱団部長 心理学科 2年次生 秋川 祐衣

私たち女声合唱団は、月曜日、水曜日、金曜日の週に3回練習を行っています。今年度も新型コロナウイルスの影響により対面練習が難しい状況が続いていますが、Zoomを用いたオンライン練習を実施するなど、工夫を凝らして活動してきました。毎年、保護者会の助成金のおかげで京都府合唱連盟の活動登録費等を支払うことができ、イベントに参加することができています。コロナ禍の状況ではありますが、大変有り難いことに、10月にはND祭、そして11月には京都府合唱連盟主催の「14th Kyoto Ladies Autumn Concert」に出演することができました。部員にとって貴重な経験となり、とても良い思い出を作ることができました。コロナの感染が懸念される中、発表の場を設けていただいたことに感謝しています。コロナ禍において昨年度から活動が困難となり、部員との交流も少なくなりましたが、今年度は発表の機会も増え、新たな仲間を迎えることもできました。来年度こそは対面練習を行い、卒業式や入学式、NDクリスマスなど学内のイベントを通して皆さまに歌声をお届けできるよう、部員一同精進していきます。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。



第60回ND祭「Re:~come back festival~」を終えて

ND祭実行委員会委員長 心理学科 3年次生 倉 遥香



開催日:
2021年10月
23日(土)・24日(日)



保護者会では
ND祭開催のために
本年度も
2,000,000円の
支援を行いました

今年度のND祭は、とても綺麗な青空でND祭日和でした。従来の規模に近い形で「Re:~come back festival~」と題して10月23日(土)・24日(日)に開催いたしました。1日目は、中庭ステージで行ったクラブ発表や交流会、ビンゴ大会などのイベントを行い、みんなで大いに盛り上がることができました。今年はコロナ禍で発表の機会を失ったクラブに少しでも発表の場を設けたいという思いより、ステージの舞台や背景を実行委員たちの力で手作りしました。また、胡粉ネイルで有名な「上羽絵惣」とコラボし、ネイルの体験会・販売を行いました。

そして、保護者会から出していただいた助成金のおかげで、お弁当も配布することができ大変好評をいただきました。2日目は、神尾楓珠さんをお迎えし、トークショーを開催しました。対面形式だけでなく、一般の方も楽しんでいただけるようオンライン配信型のトークショーも開催しました。普段私たちが講義を受けているNDホールを会場にし、ゲストの神尾さんを間近で楽しむことができました。2年ぶりのトークショーということもあり、終演後、たくさんの笑顔が見られました。2022年度もどのような形で開催できるかわかりませんが、これまでの経験を生かし、さらに皆様に楽しんでいただけるようなND祭を開催できるよう取り組んでまいりますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



保護者会通信

2022年(令和4年)3月1日 NO.26



編集・発行

京都ノートルダム女子大学 保護者会事務局

〒606-0847 京都市左京区下鴨南野々神町1 TEL:075-706-3700 FAX:075-706-3707 e-mail:hogoshakai@ml.notredame.ac.jp



会長挨拶

ご挨拶

京都ノートルダム女子大学保護者会
会長 藤岡 春樹



卒業生・修了生の保護者の皆さま、お嬢様
のご卒業・ご修了、誠におめでとうございます。

本年度は昨年度以上にコロナウイルス感染症拡大の影響を受けた1年となりました。医療体制の逼迫から入院できず自宅療養中に亡くなるという悲しい出来事が現実になりました。コロナ禍において亡くなられた方々に心からお悔やみ申し上げるとともに、今なおこの感染症と闘っておられる方々にお見舞いを申し上げます。また医療関係者をはじめとする、日々社会基盤を支えてくださっている方々に深く感謝致します。

保護者会の活動は緊急事態宣言の発令により中止が相次ぎました。学科別懇談会と教育懇談会の中止にともない大学に動画を制作していただき、保護者の皆さまが必要とされる各学科の情報やキャリアセンターからの就職関連情報について2度の動画配信をHP上で行いました。昨年12月8日にはノートルダム女子大学創立60周年記念式典で特別寄付金として積み立てをしておりました500万円を保護者会より寄付をさせていただきました。今後益々の大学の発展と教育環境の整備が充実することを願っております。

卒業生の皆さまは「徳」と「知」の建学の精神をもとに崇高な教育を受けた一つのファミリーです。この建学の精神を忘れず、卒業後もノートルダムファミリーの一員として、誇りを持ってそれぞれの道を歩んでいただきたいと思います。これからの人生において、予期せぬ試練に出会うこともあるでしょう。そんな時こそ誇り高きノートルダムファミリーの一人であることを思い出して下さい。そして自らの力で問題を解決し、自分の人生を切り開いていって下さい。自分が輝くことで周りの人たちに夢や希望を与えることのできる、そんなLadyになって頂きたいと思ひます。皆さまの輝かしい未来をお祈り申し上げます。

最後に今日まで温かく見守り、ご指導いただきました先生方、手厚くサポートしてくださいました教職員の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。



学長挨拶

ご挨拶

京都ノートルダム女子大学
学長 中村 久美



2021年度後期授業は、最初の数回は原則オンライン形式でしたが、その後、緊急事態の解除により、対面形式を基本に行っています。最近、ユージニア館の1階から4階までの教室や演習室などを見て回ることを日課にしているのですが、この新型コロナウイルス感染症流行以降、採択されたDX補助授業の後押しもあって設備がすすみました個別学習スペースで、学生がノートPCを開いて勉強している風景をよく見かけます。授業の空き時間を使って、課題に取り組む学生の、カタカタとキーボードを打つ音が廊下やホールの片隅で聞こえるのはいいものです。

さて、12月8日の創立記念日に開催しました創立60周年記念式典には、保護者会役員の皆様にご出席いただきありがとうございました。60周年記念事業に対し、多額のご寄付を頂戴しましたが、式典の中で、その目録の贈呈式も執り行わせていただきました。大変ありがたく心より感謝申し上げます。60周年記念の式典は、保護者会の皆様のほか、理事や法人関係者、修道女会のシスターに同窓会の皆様、それに本学教職員OB、OGと現教職員の内輪のお祝いの会として執り行いました。元学長や名誉教授の先生方の懐かしいお話も聞けて、和やかなうちに無事終えることができました。なお、60周年記念事業の一環として、キャンパス外周に足元照明を整備しましたが、なかなか感じがよく、日が暮れて下校する学生や、アルバイトから夜遅くに寮に戻る学生の、安全、安心が確保されました。皆様のご寄付のおかげです。11月30日に、本学恒例クリスマスイルミネーションの点灯式に併せて点灯を開始したのですが、冴え冴えと輝くイルミネーションに対し、足元照明は温かいオレンジの灯で、師走の今、本学の周りは光で包まれています。

年が明けると、もうすぐ卒業式がめぐってきます。今年度は、コロナ後のニューリアル卒業式が、保護者の皆様にも一定程度ご参列いただける形で行えますことを、祈っています。

保護者も画面で成績確認可能に ——新ポータルシステム「UNIPA」導入 教育支援部

大学では成績や学籍管理など学生生活に必要な情報を統合的に管理するシステムを使って業務を行っています。現行システムは2011年度の導入から10年以上経過し、操作性や利便性などの面で課題が生じています。何より、現在進めている大学教育改革の実行に必要な機能が十分とは言えない状態でした。そこで、2020年度から検討を重ね、日本システム技術株式会社のシステムに入れ替えることにしました。学生の皆さんが利用するポータルサイトも、現行のCampusmateから「UNIVERSAL PASSPORT」(略称「UNIPA」)に変わります。まずは2021年度

後期から成績確認機能を開始した後、各自の時間割や施設予約のほか、学習成果を蓄積し目標を管理できる機能などを順次リリースします。UNIPAの大きな特長が、保護者用アカウント発行可能となることです。具体的な運用方法は現在検討中ですが、2022年度から、学生だけでなく保護者の方も、郵送による成績通知に替えてWebの画面で成績などが確認できるようにする予定です。

UNIPA導入には、単に利便性を追求するだけでなく、デジタルを活用して「学修者本位の教育」をめざすという狙いがあります。折よく、大学が「(学生に何かを)教える」から「(学生が何かを)できるようにする」へと変革することを後押しする文部科学省の補助金(Plus-DX)を獲得できたことで、高度な機能を持つシステムの実現につながりました。



2021年度教育懇談会報告 ～講演会をWebで発信～ 保護者会事務局

2年ぶりの対面開催を予定していた「2021年度教育懇談会」は、京都府にも緊急事態宣言が発令されたことを受け、今年も中止いたしました。恒例の就職講演会については、すでにキャリアセンターと学生さんに協力を依頼していたこともあり、昨年同様ホームページでの動画公開に変更し、学生の内定報告を盛り込んだ内容で保護者の皆様への情報発信とさせていただきます。このようなオンラインを利用した取り組みも何度目かになりましたが、ご視聴いただけましたでしょうか？今後ともこのような機会には、ぜひ多くの保護者の方々にご参加いただきたいと願っております。

【御挨拶】

ご挨拶：鷺見 朗子 教授より
(本学キャリアセンター長／国際言語文化学部)

【講演】

「就業力向上への取り組みと事例紹介」

濱中 倫秀 特任准教授
(本学ND教育センター／キャリアセンター)



1. 就職環境について
2. 企業の人材ニーズ
3. ご家庭でのキャリア支援

本学の就職支援に長年携わって来られた濱中先生だからこそ、この情報が盛りだくさんのお話でした。

キャリアセンターに対しては「準備せずに行くと叱られるのではない、就活に向けて何をしたらいいのかわからない、と入室を怖がる学生もいるようですが、ぜひ気軽に立ち寄って【わからない】ということをそのまま伝えて欲しい」として保護者の皆様には「まずは学生自身が考えてきたことを尊重し、決してご自身の主観を押し付けられないようにしてあげてください」とのお話がありました。また、「大学では様々なキャリア支援を実施しています。正課内はもちろんのこと、正課外でも学内のリソースをフル活用して使い切ってください。特に1～3年生のお嬢様が、水曜日の夕方に家でのんびり過ごしているようならばぜひ【水曜 5 講時ガイダンス】への参加を促してください!」とお勧めでした。

企業の人材ニーズの説明では、例年とは別の所が出しているアンケートデータを参考にし、今までと少し違う側面から具体的な考え方を示していただきました。

まとめとして「あきらめずに最後までやりきる学生、周りのサポートをうまく使う学生が希望の進路についていると思います」と締めくくられました。

本学をよく知る人事からの評価

良いところ

- 話を聴く態度がよい
- 言葉だけではなく、行動力がある
- 成果を出すために泥臭く取り組む

あえて課題を挙げると

- 自分に自信がない
- 学歴コンプレックスがある
- 視野が狭く、浅く考えがち

内定だしの決め手は・・・？



「内定者によるディスカッション」

コーディネーター：望月 章平 事務室長 (本学キャリアセンター)

本学4年次生：山崎 加恵さん (英語英文学科)
みつなが ひなこ
満永 日菜子さん (国際日本文化学科)
よこ え み さと
横江 美里さん (福祉生活デザイン学科)
たかはし ゆ い
高橋 柚衣さん (心理学科)
やまもと さ き
山本 沙稀さん (こども教育学科)



緊急事態宣言の下、Zoomによるリモートディスカッションで、5学科から1名ずつ学生が協力してくれました。本学キャリアセンターの望月室長の進行により、いくつかの質問に答えていただく形で五者五様の体験談と、それぞれの思いを語ってくれました。

- 内定先の企業に決めた理由
- 今年の就活はどんな状況だったか
- 就活の中で苦労した事・役に立った経験
- ご両親からのサポートでありがたかった事
- これから就活を始める後輩へのメッセージ

望月室長からは「それぞれ違う就職先で、内定の仕方もそれぞれが違っていますが、5人の話を聞いていて【自ら考える、行動する、そして人とコミュニケーションをとる】というところに共通するものがあると感じました。それらは皆さんの基本となっていることで、これから仕事を始めても、その姿勢があればどんな苦難も乗り越えていけるでしょう」とのお話がありました。

お寄せいただいた感想より抜粋

この厳しい状況の中、内定を受けている学生さんがいらして、まずはホッと致しました。今の就活がどの様なものか参考になりました。自分の時を思い出して希望業種を母に一蹴され虚しくなった事もありましたので、まずは、子どもの意思を尊重しようと大変参考になりました。(2年次生保護者)

皆様からのご意見をいつでもお待ちしております!

キャリアセンター だより

「ガクチカ」から「コロチカ」へ

2023年3月卒の学生の就活が本格化しようとしています。就活に多大な影響を及ぼした新型コロナウイルスの流行も3サイクル目に入りました。

当初は企業も学生も大学も手探りの状況であり、活動が一時的に停滞したことも多々ありましたが、本年1月現在の状況から見ると先行き不透明な要素があるとはいえ、企業の採用意欲はアフターコロナを見据え、緩やかな回復基調にあると言えます。

3サイクル目ともなれば企業も着実にノウハウを積み上げており、対面が基本であった説明会はほぼオンラインとなり、面接に至っても最終面接を除き、オンラインで実施することが普通になりつつあります。企業は緊急事態宣言下にあっても、採用の流れを止めない対策を着々と進めています。

また面接時の質問についても今までは定番であった「ガクチカ」(学生時代にチカラを入れたこと)という質問も、大学にも行けずオンライン授業が主流となり学生生活を満足に送れない、学生達の実情を考慮し、「コロチカ」(コロナ禍による制約の多い状況下であってもどんな活動に力を入れたのか)という質問に変化させています。企業としてはこんな状況だからこそ、学生の生きる姿勢や新しい発想力と逞しさを発揮する、いわゆる実践力・即戦力を備えた学生を採用したいと考えています。

日本能率協会総合研究所の調査によれば、企業自体もコロナの影響を大きく受けており、日本企業の半分近くは何らかのビジネスモデルや事業形態の変更を迫られているという調査結果も出ています。コロナ禍が無ければ10年はかかった社会の変化、具体的には在宅勤務の普及、オンライン会議(出張)の浸透、手続きや仕事の電子(IT)化等、働き方の変化や消費者ニーズ(ライフスタイル)の変化が一気に進み、生き残りをかけた様々な変化への対応は、企業にとっても緊急の課題となっています。

本学でもこのような時代の流れに対応するため、低年次からキャリア教育を実施し、キャリアガイダンスの強化とインターンシップ等への参加を学生に促しているところです。

なお、本年3月卒業学生への就活支援については今も継続しております。現時点で卒業後の進路が未確定の方は、早急にキャリアセンターにご相談いただけますようお願いいたします。

京都ノートルダム女子大学
キャリアセンター長 鷺見 朗子

主な進路先

2021年度卒業予定者【58期生(21秋・22卒)】
2021/12/31 現在

製 造	タキイ種苗(株) (株)村田製作所 東レエンジニアリング(株) マルホ発條工業(株) (株)パップアロー (株)SUBARU (株)中川政七商店 (株)サマンサタバサジャパンリミテッド (株)進々堂 (株)アルピオン (株)ファンケル
情報通信	(株)メディア・バスターズ
運輸・郵便	日本交通(株) エムケイ(株)
卸売・小売	(株)京阪百貨店 (株)平和堂 コストコホールセールジャパン(株) (株)ハートフренд (株)マツモト ダンロップタイヤ近畿(株) (株)東京インテリア家具 (株)ソフマップ (株)マツシマホールディングス
金融・保険	(株)島根銀行 大阪信用金庫 滋賀県信用組合 岡三証券(株) (株)かんぽ生命保険
宿泊・飲食サービス	(株)星野リゾート・マネジメント (株)ホテルニューアワジ リゾートトラスト(株)
教育、学習支援	京都府教育委員会 滋賀県教育委員会 兵庫県教育委員会 (株)成学社 大阪府豊能地区教職員人事協議会
幼稚園、保育園	(学)真利学園 (学)誠昭学園 (学)小島学園 (福)大谷感恩会 (福)椋原ふじ福祉会 (株)日本保育サービス
医療、福祉	(医)美杉会 (福)寝屋川市社会福祉協議会 (福)晴光会 ウェルビー(株) 洛和会ヘルスケアシステム
複合サービス	京都中央農業協同組合 レーク滋賀農業協同組合 とびあ浜松農業協同組合 全国自動車共済協同組合連合会
サービス	松竹芸能(株) (株)プロネクサス 城南宮
公 務	京都市役所 陸上自衛隊
進 学	京都ノートルダム女子大学大学院

来年度主催行事のお知らせ 保護者会事務局

- ▶保護者会総会 令和4年6月12日(日)
予算案等の審議、承認・学科別懇談会
講演会等の予定
- ▶教育懇談会 令和4年9月24日(土)
個別懇談会・就職講演会等の予定



来年こそは対面開催を望むところですが、開催時の状況により内容の変更、または中止の可能性がございますことを、何卒ご了承ください。詳しくは新年度から順次あらためてご案内いたします。日程だけは決定しておりますので、ぜひ今からご予約に入れていただければ幸いです。

ご意見、ご感想など皆様からのお声をお待ちしております

▶保護者会へのお問合せ・おたより
hogoshakai@ml.notredame.ac.jp
TEL. 075-706-3700
FAX. 075-706-3707 メール用QRコード▶



▶保護者会の情報ははこちらから
https://www.notredame.ac.jp/hogoshakai
過去の保護者会通信や事業報告書等も閲覧できます。

京都ノートルダム女子大学保護者会 検索

京都ノートルダム女子大学HOMEからは
訪問者別 → 保護者の方へ のページへ
ホームページ用QRコード▶

